



TITLE:

記事経済学部・経済学会・昭和三十年度京都大学経済学会大会・公開講演会・研究報告会

AUTHOR(S):

CITATION:

記事経済学部・経済学会・昭和三十年度京都大学経済学会大会・公開講演会・研究報告会. 経済論叢 1956, 77(1): 137-138

ISSUE DATE:

1956-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/132453>

RIGHT:

經濟論叢

第七十七卷 第一號

住民税の問題點……………	神戸正雄…	(1)
資本主義より勞働主義へ……………	作田莊一…	(14)
ケインズの一般理論について……………	柴田敬…	(33)
中國農業金融の蹤跡……………	徳永清行…	(44)
アメリカ經濟管見……………	堀江保藏…	(63)
ラダイツ批判……………	穂積文雄…	(80)
恐慌と地代……………	鶴嶋雪嶺…	(98)
ベンサムの功利主義體系……………	山下博…	(113)

[昭和三十一年一月]

京都大學經濟學會

記事

昭和三十年度京都大學經濟學會大會

本年度の經濟學會大會は左の通り十一月二十五、二十六日の
兩日にわたつて開催された。

第一日 十一月二十五日（金）午後一時—五時於法經第七教室

公開講演會

一、日本經濟の現状と今後の經濟政策

住友銀行頭取 堀田庄三氏

一、ドイツ會計學・經營學界の近況について

大阪市立大學教授 木村和三郎氏

一、アメリカ經濟管見

京都大學教授 堀江保藏氏

第二日 十一月二十六日（土）午前九時—午後五時於法經第五

教室

研究報告會

一、戦後日本の勞働運動

同志社大學助教授 西村 裕通氏

一、地租改正の基本的性格—山口縣地租改正を中心として—

山口大學講師 關 順也氏

一、工場法の成立と綿業資本

廣島大學講師 井上洋一郎氏

一、日本經濟の産業連關分析

經濟學部

○松井清教授はかねて文部省在外研究員として滞歐中であつた
が十一月二十七日歸學した。

經濟學會

研究報告九月例会 九月十五日（木）午後一時半より樂友會館

に於て開催、

報告

○米國の大學と大學生

堀江保藏氏

研究報告十月例会 十月二十日（木）午後一時より法經第三演

習室に於て開催

報告

○原價計算の發展

—英國稅務、並に財務關係委員會原價計算小委員會報告

について—

○第二ラドイツ蜂起について

岡野清一氏
穗積文雄氏

記事

和歌山大學助教授 市村 眞一 氏
一、戦後日本海運市場の特殊相

京都大學教授 佐波 宣平 氏

公開講演會では日本經濟および世界經濟の詳細な分析から今後の問題解決の方向を示された堀田氏、最近のドイツおよびアメリカ視察から豊富な見聞をもたらされた木村、堀江兩教授、いずれも講堂にあふれる聴衆に多大の感銘を與えた。

第二日には各報告者からそれぞれの分野における最近の研究成果を發表され、それに續く討論とともに學界に對してきわめて有意義な寄與をなしたものと考えられる。これら講演と研究報告の多くは近く本誌に掲載されるはずである。

なお第二日午後六時から京大樂友會館で懇親會が開かれ、全國から集つた會員のつきぬ歡談は晩秋の夜のふけるのも忘れるほどであつた。

研究報告十二月例會 十二月十五日(木) 午後一時より法經第三演習室に於て開催

報告

○マックス・ウェーバーと十九世紀末のドイツ農業労働者

問題

○社會政策分析の基礎視角

山口和男氏
向井喜典氏

執筆者紹介

神戸正雄 京都大學名誉教授

作田莊一 元京都大學教授

柴田敬 山口大學教授

徳永清行 同志社大學教授

堀江保藏 京都大學教授

穂積文雄 京都大學教授

鶴嶋雪嶺 京都大學大學院研究擬學生

山下博 京都大學大學院學生